

土地・不動産に関する行政情報・トピックス・学会誌情報

【審議会・委員会等の情報】

● 第15回国土調査のあり方に関する検討小委員会を书面開催：国土交通省

国土交通省は、4月28日に令和2年度からの新たな国土調査事業十箇年計画について検討を行うため、国土審議会土地政策分科会企画部会の「国土調査のあり方に関する検討小委員会」の第15回目を书面開催し、新たな十箇年計画の案について意見を伺った。

[国土調査のあり方に関する検討小委員会：国交省](#)

● ESG投資を踏まえた不動産特定共同事業等検討会の中間とりまとめを策定：国土交通省

国土交通省は、4月22日、ESG投資の拡大やブロックチェーン技術の進展等、不動産投資市場における新たな潮流や、クラウドファンディング市場の拡大により、個人投資家の更なる不動産投資の促進が期待されているなかで、投資家保護の観点から踏まえた不動産特定共同事業の規制のあり方や今後の施策の方向性について検討を行うため、昨年9月、ESG不動産投資のあり方検討会を設置し、これまで3回にわたり議論を行い、今般、不動産特定共同事業の適切なガバナンスの確保、不動産と社会の関わりを捉えた規制の適正化、トークンの取扱いなどを内容とする中間とりまとめを策定した。

[ESG投資を踏まえた不動産特定共同事業等検討会：国交省](#)

● 第12回不動産投資市場政策懇談会を书面開催：国土交通省

国土交通省は、4月22日、不動産投資市場の活性化及び持続的な成長に向けて、不動産市場の適切な動向把握に資する情報整備や金融技術の進展等を踏まえた環境整備など、今後の不動産投資市場政策に係る検討課題等について議論するため、第12回不動産投資市場政策懇談会を书面開催した。

[不動産投資市場政策懇談会：国交省](#)

● 第2回水災害対策とまちづくりの連携のあり方検討会（第2回）を书面開催：国土交通省

国土交通省は、4月17日、近年の水災害の激甚化や水災害リスクの増大を踏まえ、水災害に対するリスクの評価及び防災、減災の方向性について検討するため、第2回目の水災害対策とまちづくりの連携のあり方検討会（座長：中井検裕東京工業大学教授）を书面開催し、第1回の検討結果を踏まえた、水災害に関するハザード情報のあり方に関する議論や検討会の委員等から話題提供を頂いた。

[「水災害対策とまちづくりの連携のあり方」検討会：国交省](#)